

## 6-5 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果（2002年11月～2003年4月）

### Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (November, 2002-April, 2003)

産業技術総合研究所  
Geological Survey of Japan/AIST

#### 1. 観測概要

産業技術総合研究所は長野県西部地域（王滝地域）、跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している（第1図）。王滝地域では2000年5月7日より歪、傾斜計が故障のため観測不可能となっている。

宮川：跡津川断層のロック部に位置する。深度約300mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計（1 Hz, 3成分速度計）を設置。また、深度256.78～267.66 mの滞水層にストレーナーを設置し、地下水位の計測も行っている。高周波での地震計の共振がないよう、計器を改良した。計器中に、歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

跡津川：跡津川断層のクリープ部に位置する。坑道内に深度約50mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計を設置。また、地下水位の計測も行っている。計器中に、歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

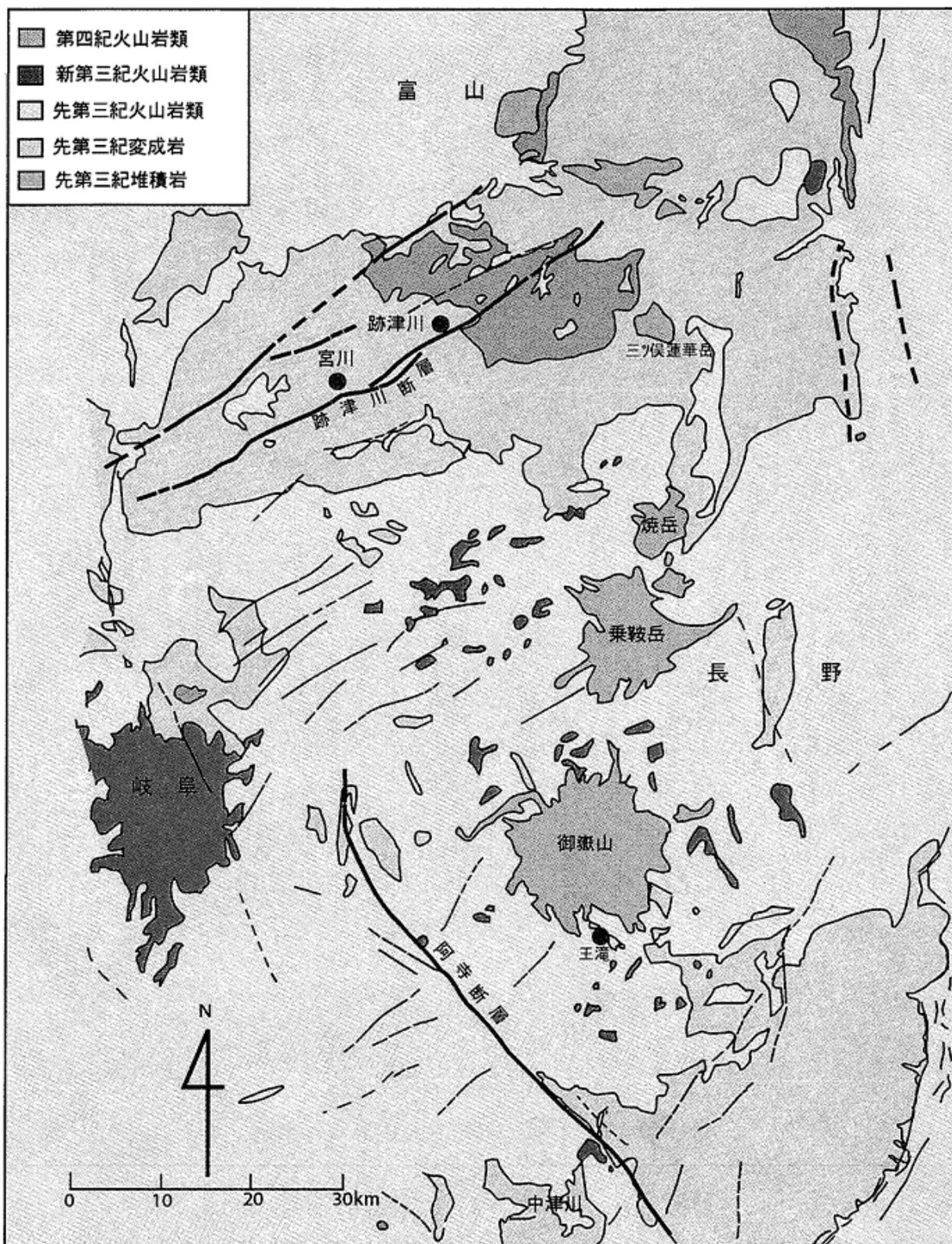
#### 2. 観測結果概要

宮川（第2図）：水位、歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。2003年3月下旬から水位の上昇、歪の縮みが見られる。これは例年見られる現象で雪解けの影響と考えられる。

跡津川（第3図）：水位、歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年10月末頃から約2か月で $5E-6$ 歪が縮み、温度で $20m^{\circ}C$ 上昇、1月初旬から再び歪の伸びと温度の低下が観測され、4月初旬から温度低下が加速している。

跡津川（第4図）：4年2ヶ月間の記録。2002年4月初旬から歪3成分で約 $1E-7$ /日の急速な伸び、歪計内の温度が約 $0.5m^{\circ}C$ /日で降下している。これ以後温度が不安定になっている。

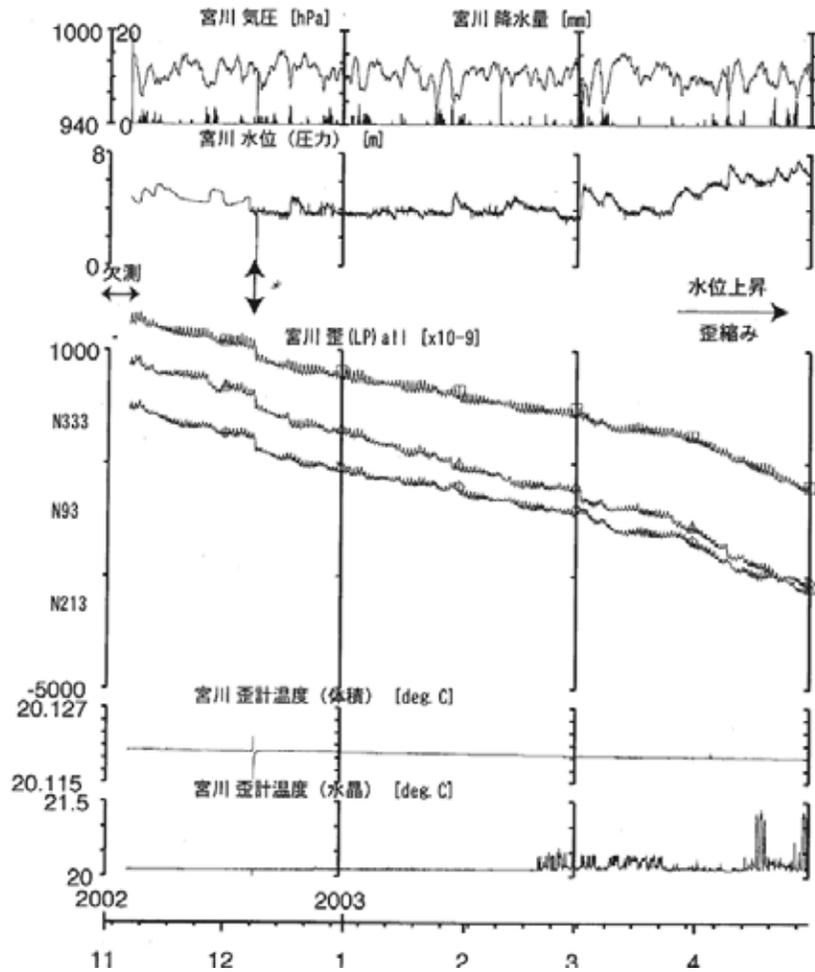
（伊藤久男，桑原保人，今西和俊）



第 1 図 長野県西部地域・王滝地域，跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig.1 Location map of the observation boreholes at Ohtaki in Naganoken-Sebu region, Miyagawa and Atotsugawa at the Atotsugawa fault.

宮川歪等観測結果 (時間値)  
( 2002/11/01 00:00 - 2003/04/30 00:00 )

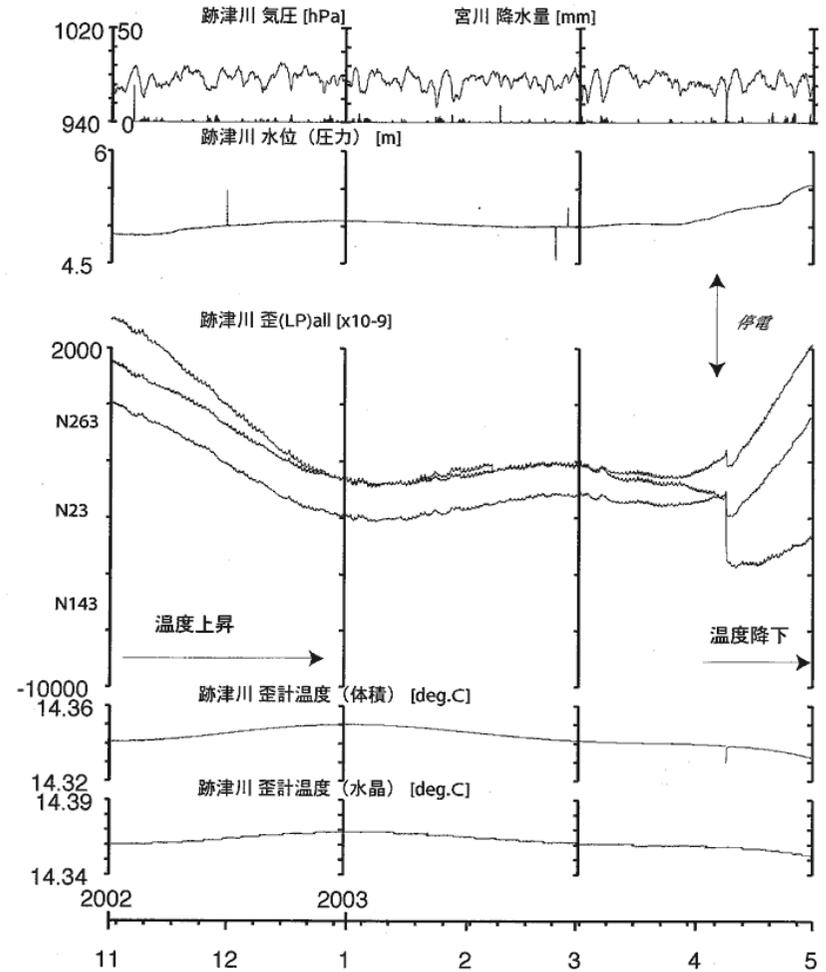


第2図 宮川における歪観測結果 (6カ月間)

(\* 電気系統の変更によりノイズ増大)

Fig.2 Results of strain meters at Miyagawa (for 6 months).

跡津川歪観測結果 (時間値)  
( 2002/11/01 00:00 - 2003/05/01 00:00 )

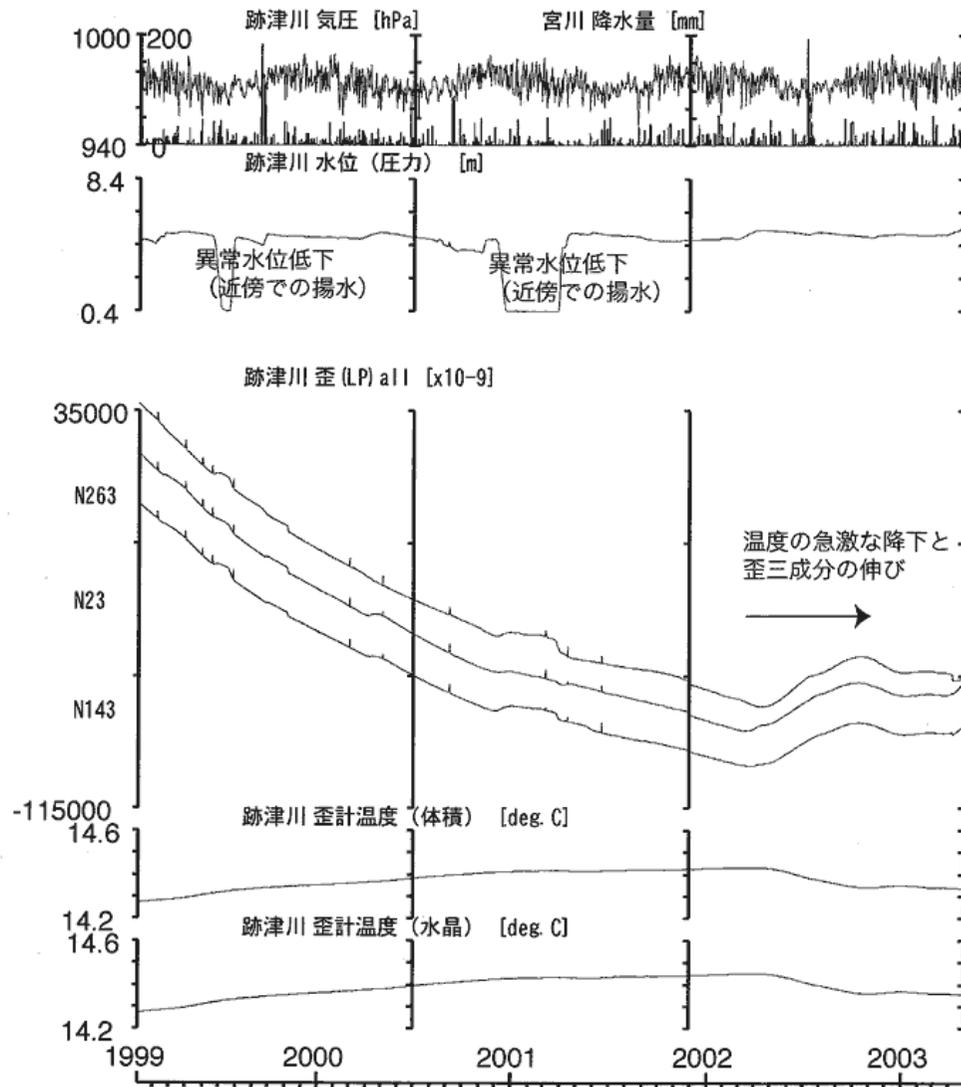


第3図 跡津川における歪観測結果 (6カ月間) . 2000年4月以後、

歪計温度が不安定であり、歪データも不安定となった。

Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 6 months).

跡津川歪観測結果 (日値)  
 ( 1999/02/01 00:00 - 2003/04/30 00:00 )



第4図 跡津川における歪観測結果 (4年2カ月間)

Fig.4 Results of strain meters at Atotsugawa (for 4 years and 2 months).